







<b>1. 「薬価基準点数早見表」 令和7年4月版</b>		
	医師協価額:1,940円(税別)	【3月下旬発刊予定】
	定価:3,800円(税別) A5判 約1,100頁 商品No.120039 ISBN:9784789402354	
	<p>薬価基準収載全医薬品を、50音順に配列し、薬価を表示 見やすくシンプルでひきやすい、実用早見表の決定版！</p> <p>◆内用薬・注射薬・外用薬・歯科用薬剤の順番に、商品名・薬価はもちろん、規格単位や製造・販売会社名等を一覧できます。◆診療報酬上評価される後発医薬品、使用期限別の経過措置品目の情報もひと目でわかる、実用早見表の決定版です。◆一般名処方広がる中、配合剤についても一般的名称等を記載します。また、薬剤選択の参考となるよう同種同効品の代表的薬剤の名称も記載しています。◆付録として薬効分類番号順に一覧できる薬効別分類表や汎用点数早見表も収録した納得の情報量です。</p>	
<b>2. 「保険薬事典 Plus<sup>+</sup>」 令和7年4月版</b>		
	医師協価額:3,840円(税別)	【3月下旬発刊予定】
	定価:4,800円(税別) A5判2色 約1,100頁 商品No.120662 ISBN:9784789428842	
	<p>同成分の各医薬品の適応・用法、薬価等の情報を ひと目でチェックできる新定番書</p> <p>◆薬価だけでなく、先発品と同成分の後発品がわかる！と評判の「保険薬事典」に、適応・用法をPlus+しました。◆成分でまとめているため、同種同効品や先発品と適応の異なる後発品のチェックが簡単にできます。◆薬価基準未収載の避妊剤やED治療剤、男性型脱毛症剤、放射性物質除去剤など、注目の医薬品もPlus+収録しています。◆見やすい2色刷りとし、レイアウトにもこだわって、パッと見て判別できる紙面です。</p>	
<b>3. 「薬効・薬価リスト」 令和7年度版</b>		
	医師協価額:5,010円(税別)	【4月上旬発刊予定】
	定価:6,700円(税別) B5判2色 約1,100頁 商品No.120229 ISBN:9784789402842	
	<p>適応・薬価をはじめレセプト事務に必要な情報を集約 請求・審査・点検に欠かせない決定版</p> <p>◆薬価基準収載の全品目を、内服・外用・注射・歯科用別に50音順に収録。◆薬価、適応のほか、用法・用量、保険上の取扱いなど、必要な情報を即座にチェックできます。◆各品目の一般名から引ける一般名索引を掲載し、一般名処方にも対応しています。◆追補情報を当社ウェブサイト上で迅速・無料で掲載しています。</p>	

4.	<b>「投薬禁忌リスト」 令和7年版</b>	
	医師協価格:3,520円(税別)	【4月上旬発刊予定】
	定価:4,400円(税別)、B5判2色、約620頁 商品No.120532 ISBN:9784789426022	
	<p>臨床使用で要注意な、警告・禁忌等を簡単チェック 『薬効・薬価リスト』をさらに深める姉妹図書</p> <p>◆禁忌事項または重大な副作用がある薬剤を商品名50音順に収録。禁忌等の情報が簡単にチェックできます。◆先発医薬品・後発医薬品を問わず、商品ごとの併用禁忌情報が一度引きで確認できます。◆添付文書の新記載要領にも対応。記載の新旧がひと目で判別できます。◆巻末付録には、『飲食物・嗜好品等と医薬品の相互作用一覧』『併用禁忌に記載のある薬剤名等一覧』等、さっと確認できる一覧を掲載しています。</p>	

7.	<b>「訪問看護業務の手引」 令和7年度版</b>	
	医師協価格:3,200円(税別)	【6月発刊予定】
	定価:4,000円(税別)、B5判 約840頁 商品No.140623 ISBN:9784789404631	
	<p>訪問看護ステーション必携 介護保険も医療保険も算定はこれでOK</p> <p>◆訪問看護ステーションが行う介護保険・医療保険の訪問看護業務の進め方をまとめました。 ◆ステーションの開設から、訪問看護の実施、費用の請求(レセプトの作成)まで、図表を駆使してわかりやすく解説しています。◆よく使う様式から根拠となる法令・通知まで、業務に関連する資料を網羅した決定版です。</p>	

8.	<b>「ジェネリック医薬品リスト」 令和7年8月版</b>	
	医師協価格:2,880円(税別)	【8月発刊予定】
	定価:3,600円(税別)、A5判2色 約640頁 商品No.120622 ISBN:9784789428934	
	<p>保険医療機関がジェネリック医薬品を採用する際、 必要となる情報をわかりやすくまとめた実用・専門書</p> <p>◆覚えている商品名から、その成分グループにおける後発品の有無、後発品があるものであれば代表薬の名前がわかります。◆一般名処方を行った際、処方箋の種類に使用できる最低薬価が一目瞭然です。◆一般名処方加算1・2もしつかり整理。処方箋に書く一般名記載も迷いません。</p>	